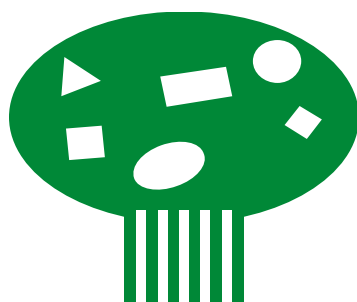




2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022 年12月1日～ 2023 年11月30日)



阪南産業株式会社

発行日 : 2024年2月1日
更新日 : 2024年4月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
事業許可の内容	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7~9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

時代が求める企業像へ。一步ずつ着実に前進。



本社



八尾新工場(令和3年7月オープン)



完成したチップをもとに、パーティクルボード、ファイバーボード、紙・パルプなどのリサイクル品の製造やバイオマス燃料として再利用されます。

□ごあいさつ

現在、異常気象などのさまざまな『地球温暖化』が深刻になってきています。
これは私たちが便利さを追求してきたことが原因のひとつだと思います。
それぞれが『今』できることをして、これから先『地球温暖化』の問題を先延ばしにしない
ことが大切です。
一人一人が行動を振り返り、反省をして改善していくことで自身の成長に繋がっていくと
思います。

2023年12月

阪南産業株式会社 環境経営方針

阪南産業株式会社は、昭和34年の創業以来、「木材資源のリサイクルを追及する」を企業理念の柱に据え、木材チップ製造を一貫して事業の中心としてまいりました。現在、環境意識の高揚にともなってリサイクルの重要性はますます大きくなり、時代はまさに、私どもの予想をはるかに越えるスピードでリサイクル企業の存在価値を高めてきたと言えます。
限りある資源の有効利用により、地球環境保全に貢献するために、これからも私たちの役割は、各方面から一層期待されるはずで。その為に、より一層の創意工夫によって、より高い環境保全目標に向かって取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減
- ③事務所からの一般廃棄物の削減
- ④水道水の使用量削減
- ⑤コピー用紙の削減
- ⑥環境配慮製品の販売促進
- ⑦太陽光発電施設の適切な運営管理

これらについて環境経営目標・活動経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 受託した産業廃棄物(木くず)の再資源化率99%以上を維持します。

3. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

4. この環境経営方針を全従業員に周知させます。

5. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。



制定日：2007年12月1日

改定日：2018年12月1日

代表取締役社長 高好 章二

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
 阪南産業株式会社
 代表取締役社長 高好 章二
- (2) 所在地
 本社・第2工場 〒559-0026 大阪市住之江区平林北2丁目8番23号
 事務所 大阪市住之江区平林北2丁目7番78・81号
 第3工場 大阪市住之江区平林北2丁目9番134号
 第4工場 大阪市住之江区平林北2丁目7番40号
 第1工場 大阪市住之江区平林南2丁目6番72号
 八尾工場 大阪府八尾市老原9丁目53番
 淡路太陽光発電所 兵庫県淡路市江井字ナギ1902-19他
 宍粟市太陽光発電所 兵庫県宍粟市一宮町公文1467-1
 たつの市太陽光発電所 兵庫県たつの市御津町室津字七曲り896-24
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 環境管理責任者 専務取締役 高好 健二 TEL : 06-6685-7196
 環境管理担当者 営業部主任 堀内 成浩 TEL : 06-6685-7196
- (4) 事業内容
 木材チップの製造及び販売、産業廃棄物（木くず）の中間処理、産業廃棄物の収集運搬業（積替え・保管を含む）、太陽光発電事業
- (5) 事業の規模
 法人設立 1968年12月10日
 資本金 9,999 万円
 売上高 1,353 百万円（2023年度）

	本社・第2工場	第3工場	第4工場	第1工場
従業員	32 名	7 名	1 名	※産廃は扱わない / 1 名
	八尾工場	淡路発電所	宍粟市発電所	たつの市発電所
従業員	7 名	0 名	0 名	0 名
延べ床面積		290kW/5,360 m ²	514kW/6,371 m ²	1,190kW/31,524 m ²
		年間発電実績量		2,385,138 kWh

受託した産業廃棄物			
収集運搬量	20,000 t		
中間処理量	85,437 t	うち再資源化量	85,437 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備 考
平ボディー車	5 台	8t×1台、6t×1台、4t×3台
ダンプカー	3 台	4tローラオン
営業車両	3 台	普通車
重機類	18 台	バックホー×7台、ホイールローダー×5台、リフト×6台
合 計	29 台	

主要設備		
名称	台数	備考
破碎施設(第2、第3工場)	3 基	132t/日、79t/日、160t/日
破碎施設(八尾工場)	1 基	453.8t/日
合計	4 基	

積み替え保管施設			
名称	保管面積	保管上限	備考
第2工場	650 m ²	414 m ³	
第3工場	m ²	m ³	
第4工場	383 m ²	313 m ³	
八尾工場	m ²	643 m ³	

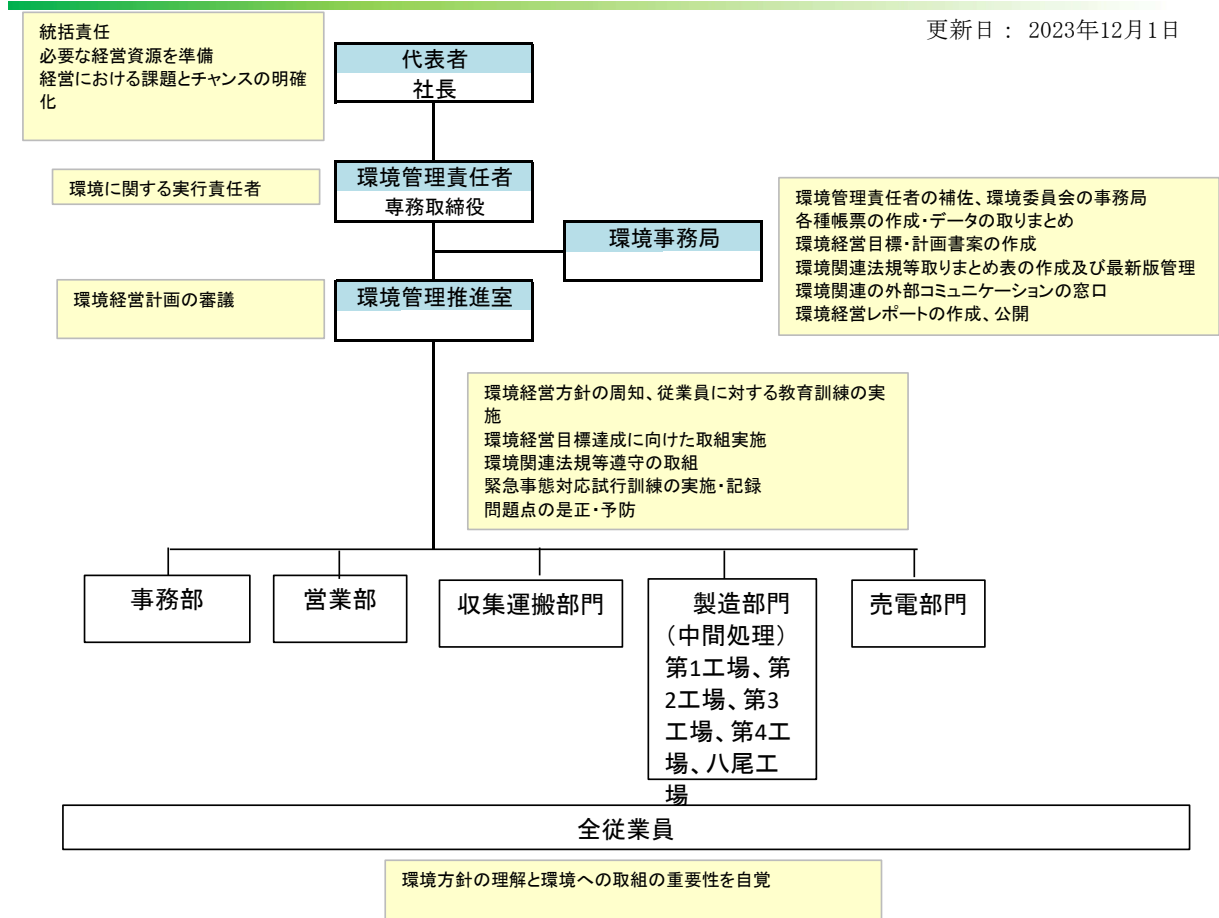
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 阪南産業株式会社
 対象事業所： 本社(事務所)
 第1工場、第2工場、第3工場、第4工場、淡路太陽光発電所、宍粟市太陽光発電所、
 たつの市太陽光発電所

対象外： なし

活動： 木材チップの製造及び販売、産業廃棄物（木くず）の中間処理、産業廃棄物の収集
 運搬業（積替え・保管を含む）、太陽光発電事業

環境経営組織及び役割・責任・権限



□許可の内容

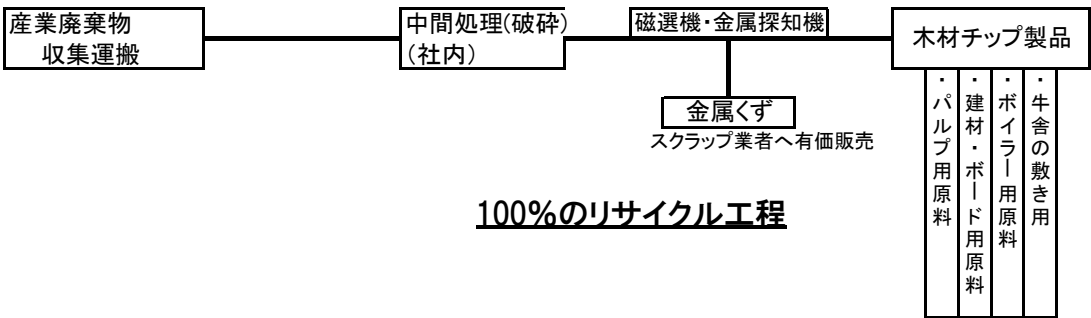
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
大阪市	6610008387	令和1年10月25日	令和8年6月30日	有			○	○	○	○	○	○	○				○		
大阪府	2700008387	令和4年7月1日	令和11年6月30日	無			○	○	○	○	○	○	○				○		
京都府	2600008387	令和4年8月16日	令和11年7月15日	無			○	○	○	○	○	○	○				○		
兵庫県	2803008387	令和1年9月17日	令和8年9月16日	無			○	○	○	○	○	○					○		
奈良県	2900008387	令和1年8月19日	令和8年8月18日	無			○	○	○	○	○	○					○		
滋賀県	2501008387	令和1年11月18日	令和8年11月17日	無			○	○	○	○	○	○					○		
和歌山県	3000008387	平成29年11月21日	令和6年11月20日	無				○											

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類									
					中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず		
大阪市	6620008387													
		令和2年2月13日	令和9年2月12日	破砕			○							
八尾市	12620008387	令和3年6月28日	令和8年6月27日	破砕			○							

□廃棄物処理フロー



廃棄物処理料金

処理料金につきましては種類、量により計算いたします。
弊社営業(TEL06-6685-7196)までご相談ください。無料にてお見積もりいたします。

所属する主要団体

- ①公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
- ②平林会(地域団体)

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,233,356	1,191,217	1,063,917
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	523,231	611,658	585,886
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	710,126	579,559	478,031
受託収集運搬量	トン	20,000	20,000	20,000
受託中間処理量	トン	86,684	94,375	85,437
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	516	516	516
産業廃棄物排出量	kg	31,140	40,660	64,720
水使用量	m ³	11,656	12,281	14,024
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.418	0.311	0.311
		関西電力(2017年)	関西電力(2021年)	関西電力(2021年)

kg-CO₂/kWh

※2021年7月操業開始の八尾工場分は2022年度に加算

環境経営目標及びその実績

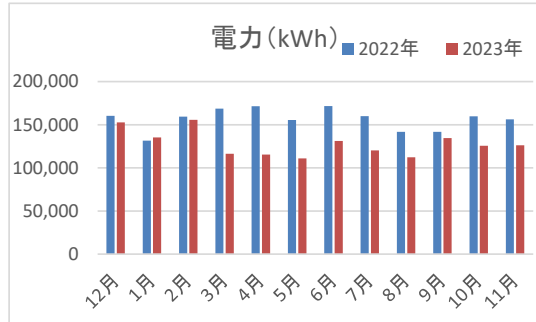
年 度		2022年度	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	1,863,534	1,844,899	1,537,078	○	1,826,263	1,807,628
	基準年度比		99%	82%		98%	97%
生産高原単位	kg-CO ₂	579,559	573,763	478,031	○	567,968	562,172
	基準年度比		99%	82%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減 LPGを含まない	kg-CO ₂ /t	6,200	6,138	5,656	○	6,076	6,014
	kg-CO ₂	602,288	596,266	585,010	○	590,243	584,220
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,181,847	1,170,029	1,063,041		1,158,211	1,146,392
	kg	516	506	516	×	506	501
一般廃棄物の削減							
受託廃棄物のリサイクル率の向上	基準年度比		98%	100%		98%	97%
	%	—	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	12,281	12,158	14,024	×	12,035	11,913
	基準年度比		99%	114%		98%	97%

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

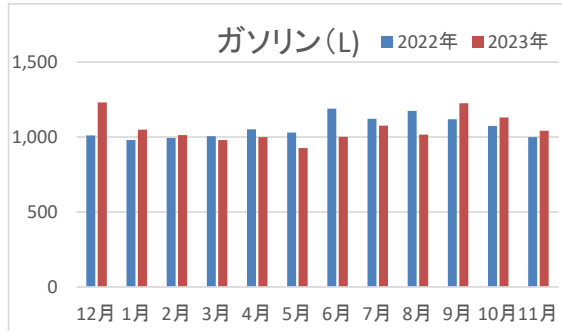
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	82%	3月から8月の期間で第3工場稼働していなかった分もあるが、その他の期間でも概ね目標クリア出来た。来期も不必要なラインの電源を落とす、機械の入替え等で電力削減したい。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



取組紹介欄

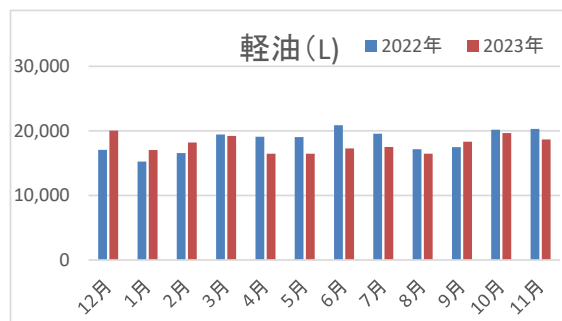
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	160,380	131,655	159,490	168,647	171,590	155,499	171,609	160,095	141,803	141,803	159,868	156,322
2023年	152,682	135,346	155,806	116,431	115,484	111,033	131,318	120,398	112,252	134,510	125,603	126,215

自動車燃料による二酸化炭素削減LPGを含む	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	97%	3月から8月の期間で第3工場稼働停止。
・エコドライブの徹底	○	八尾工場は新規オープンから順調に受入れ増加で重機の稼働時間増。
・効率的なルートで配送	○	来期も継続してエコ運転に取り組む
・エリア別営業活動の見直し	○	



取組紹介欄

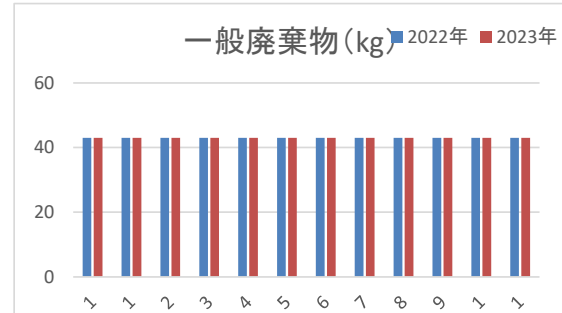
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	1,011	980	994	1,006	1,052	1,030	1,189	1,122	1,174	1,119	1,074	999
2023年	1,231	1,049	1,013	980	999	927	1,001	1,076	1,016	1,226	1,131	1,042



取組紹介欄

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	17,064	15,255	16,567	19,437	19,080	19,032	20,874	19,557	17,158	17,487	20,173	20,296
2023年	20,037	17,046	18,205	19,210	16,455	16,459	17,283	17,518	16,455	18,326	19,667	18,675

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	100%	一般廃棄物のこれ以上の削減は難しい状況と考えられる。継続して
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	

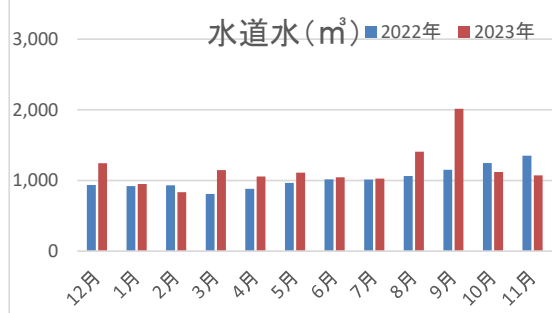


取組紹介欄

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
2023年	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	リサイクル率ほぼ100%は構築されているので継続
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	114%	防塵対策は水以外にも薬液散布設備等も各工場に設置完了。 第2工場ではシートの設置等もしているが、まだ改善の余地あり。 八尾工場も粉塵防止の散水を強化。 継続して検討
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・自動水栓取り付け	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



取組紹介欄

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	935	921	931	810	882	966	1,016	1,012	1,062	1,150	1,246	1,350
2023年	1,244	950	835	1,146	1,056	1,111	1,044	1,026	1,408	2,013	1,120	1,071

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（木くず処理）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
騒音規制法	破碎機
振動規制法	破碎機
電気事業法	受変電設備の保守・保安
オフロード法	構内重機の排ガス規制
下水道法	排水量、水質変更する場合の届出
消防法（指定可燃物）	指定可燃物の届出
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023. 4. 3	■実施場所 本社
■参加者： 高好・亀井・神山・浦井・西手・堀内	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練等の手順書確認
■評価： 手順書の確認と防災意識の向上が出来た。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年度は弊社第3工場において深夜の無人の時間帯において火災を発生させてしまい、地域周辺の皆様及び取引先の皆様に御迷惑・御心配をお掛け致しました。申し訳ございません。
現在は復旧して通常通りの営業となっておりますが、再発防止に日々努めます。

二酸化炭素の排出削減については不要な電気の削減・デマンド管理等の取組みも進み、八尾工場には工場屋上に太陽光パネルの設置もして目標に進んでおります。重機の軽油使用量についても低燃費型への入替えが随時進んでおり、新たな取組みも検討しております。

水道水の使用量の削減が目標未達成となりましたが、防災・防塵・労働環境の点からも適切な使用を守りたいと考えております。

廃木材の多段階利用出来るリサイクルをますます推進出来るよう邁進していきます。

環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制

☒ 変更なし

☒ 変更なし

☒ 変更なし

☐ 変更あり

☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと

☐ 変更あり